

令和6年度 第8回千曲市自転車活用推進計画検討委員会 会議録概要

- 開催日時 令和6年8月6日（火） 午前10時30分～午後0時00分
- 開催場所 千曲市役所 301AB 会議室
- 出席者 委員：9名（欠席者4名）
アドバイザー：国土交通省長野国道事務所 交通対策課長：磯田 洋一
事務局：4名（道路河川課長、建設係長、建設係1名、㈱日本海コンサルタンツ1名）
関係部局：総務課、総合政策課、環境課、市民生活課、健康推進課、観光課

1 開 会

道路河川課長

2 あいさつ

委員長（若林）

今日も気温が上がり始めた中、お集まりいただきありがとうございます。

最近、夕方涼しくなってから、千曲川の堤防道路を散歩しています。一部区間が時間帯で車両通行止めになり、トイレが整備されたこともあり、サイクリングロードを自転車で通行する方も多くなったと感じています。ただ、週末になると間違っ

て侵入してくる車もいるので注意していかなければと感じているところです。

以前、観光協会で、岐阜県飛騨市へ研修に行った際に、里山サイクリングツアーを体験しましたが、その後すぐにタイラー委員が千曲市でずくだしエコツアーを実践して、大変うれしく思っています。市や県の協力で、サイクリングルートが整備されていなければ、このようなソフト面の活用もできていなかったのではと感じています。

本日の会議は、千曲市自転車活用推進計画の進捗状況を事務局から報告していただきます。委員の皆さまからも忌憚のない御意見をいただければと思います。

3 会議事項

(1) 千曲市自転車活用推進計画の進捗状況

○資料 1～4 について説明

[質疑応答]

副会長（梶）

私は、片道 25 分かけて日頃から自転車で職場へ通勤しています。今年から交通安全委員となり、街頭指導にも参加しています。指導をする中で気になるのは、自転車が歩道を通行する際に、どこを走ればよいのかが分かっていないということです。利用者の意識が明確になると、歩道上での事故も減るのではないかと感じています。街頭指導の方法についても考えていかなければならないと感じています。

委員（小林）

自転車ルールの周知については、警察でも各小学校に対して継続して教育を行っているところであり、御指摘いただいた通行位置についても周知していかなければならないと感じています。

委員（西澤）

学校としても生徒の痛ましい事故はなくしたいと考えています。昨今は、家庭に配信できるメール機能を使い、タイムリーな情報発信ができるので、家庭に注意喚起を行っています。学校では、職員が日常的に交通安全の指導を行っています。地域の危険箇所を教えていただきながら対策を行っています。小学生の事故は、飛び出しの事故が多く、ヘルメットの顎紐を閉めていない場合もあり、教育が必要だと感じています。家庭での教育も不可欠であり、協力して対応していく必要があると感じています。

委員（新井）

安協では、交通安全週間や子どもたちの長期休みに街頭指導を行っています。特に問題があるという話は聞いていません。

委員（太田）

しなの鉄道利用者は、7～8割程度が日常利用者です。シェアサイクルを通勤で使用している様子をよく見かけるようになりました。千曲市でも駅での駐輪場整備を進めていただき感謝申し上げます。しなの鉄道では、観光利用（サイクルツーリズム）を進めていきたいと考えています。去年は、団体貸切型の鉄道を運行しており、今後は、北しなの線で一般客が自転車を持ち込める定期列車を運行したいと考えています。千曲市・長野市方面については輸送力の制約により難しい面はありますが、少しずつこういった取組を進めていきたいと考えています。

委員（久保） （４月からルートが変わり問題はなくなりましたが、）市内で循環バスを走らせている中で、内川公民館の前にグリーンベルトができた後、バスが通行できる幅が狭くなってしまいました。自転車通行空間等の整備により、危険性が高まることもあるのではないかと感じています。

事務局 自転車活用を推進していく中で、自転車が安全に通行できる環境整備は必要と考えています。他方で、バスなどの自動車を通りにくくなることもあると感じており、いただいた御意見は、今後の空間整備や路線選定の参考としていきたいと思います。

委員（関） 千曲建設事務所でもシェアサイクルを利用する職員がいますが、個人的には敷居が高いように感じています。気軽に利用方法を聞くことができる環境があればありがたいと思います。

会長（若林） 私の経験では、５分程度でアプリ登録が完了し、簡単に利用することができました。是非利用していただきたいと思います。

アドバイザー（磯田） 今回の委員会を通じて、千曲市の自転車に対する期待感と熱意が伝わってきます。昨年実施したアンケート調査の結果を見ても、中間時点ではありますが、徐々に取組が認知されて、上昇傾向になるのではと感じています。

道路整備においては、限られた道路空間を譲り合って利用していく視点が重要であり、引き続き皆さまの御協力をお願いいたします。

（２）令和６年度以降における自転車通行空間整備方針（案）

○資料５について説明

[質疑応答]

委員（タイラー） 長野電鉄屋代線東屋代駅跡地の広場整備では、トイレや駐車場の整備も予定されていますか。サイクリストが利用する際には、トイレや駐車場があると便利だと思います。

事務局 トイレの整備は予定しておらず、広場とベンチがあるという状態になる予定です。駐車場は整備しますが、自転車歩行者専用道へ車が入ることはできません。

(3) 令和5年度シェアサイクル社会実験の結果

○資料6について説明

[質疑応答]

委員（関）

資料4の市民アンケート調査結果によれば、市民のシェアサイクル利用者は1%にとどまっており、市民利用者の新規掘起しをしていく必要があると感じました。

観光課

市民利用については拡大できればと感じていますが、観光課が所管していることもあり、観光客をベースとした二次交通の確保として実施してきた経過があります。なお、シェアサイクルの社会実験において実施したアンケート調査の結果には、市外の方の意見も含まれています。

会長（若林）

最初に登録する際は戸惑いましたが、利用してみると便利であるため、職場単位などで、勉強会などをしても良いと感じています。総合観光会館のポートが二箇所になりましたが、かなり利用されていると感じています。

委員（タイラー）

姨捨駅にポートを設置した方が、千曲市の総合的な交通を考えると良いのではないかと感じています。総合観光会館も自転車が余っている状態であるため、姨捨駅に設置してもらえるとありがたいです。

観光課

サイクリング推進委員会でも、姨捨駅のポート整備について御意見をいただいています。今年度の利用実績を踏まえて、随時ポートの更新をしていきたいと思っています。

(4) その他（委員からの情報共有）

○資料7について説明

4 委員の任期について

○千曲市自転車活用推進計画検討委員会 第3期委員の委嘱予定について説明

5 閉 会

道路河川課長

以上